

各位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー
代表者 代表取締役社長 高木 章裕
(コード番号 4242)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 沖 孝則
(TEL 0766-24-5522)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期連結会計年度において、固定資産の減損処理に伴う特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

また、上記理由及び最近の業績動向を踏まえ、2022年10月31日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,430	2,270	2,520	810	293.88
今回修正予想(B)	48,160	2,010	2,390	700	253.59
増減額(B-A)	△2,270	△260	△130	△110	
増減率(%)	△4.5	△11.5	△5.2	△13.6	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	47,332	2,650	2,671	1,006	366.42

修正の理由

1. 特別損失(減損損失)の計上

当社の連結子会社である「佛山市南海華達高木模具有限公司」における、事業環境の変化等による受注減少に伴う収益性の低下等を踏まえ、同社の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2023年3月期の連結決算において、312百万円を特別損失(減損損失)として計上する見込みです。

2. 業績予想の修正の理由

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高は国内・海外ともに世界的な半導体不足等による顧客の減産・生産調整の減収要因に加え、前回の想定為替レートに対して、円高で推移したことによる邦貨換算の減収影響等により、前回発表の50,430百万円を4.5%下回る48,160百万円の見通しとなりました。

損益面では、売上高の減少影響等により、営業利益は前回発表の2,270百万円を11.5%下回る2,010百万円、経常利益は前回発表の2,520百万円を5.2%下回る2,390百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は上述の特別損失(減損損失)の計上等により、前回発表の810百万円を13.6%下回る700百万円の見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がございます。

以上